

議事録

審議会等名	令和5年度 第1回つくばみらい市図書館協議会
開催日	令和5年12月19日（火曜日）
開催場所	つくばみらい市 教育委員会庁舎 2階 会議室
出席者	出席委員 大久保会長、石塚副会長、内田委員、中村委員、 渡邊委員、高畑委員、松本委員、栗原委員、田上委員、 欠席委員 吉田委員 事務局 町田教育長、大山生涯学習課長、川田館長、関主査、 五十嵐司書
議事	(1) 報告 ・令和4年度活動実績について ・電子図書館について (2) その他
会議概要	・開会 午後2時00分 ・委嘱状交付 ・教育長あいさつ ・図書館長あいさつ ・会長あいさつ ・職員紹介 ・報告 (1) 令和4年度活動実績について (2) 電子図書館について 【質疑等】 (1) 令和4年度活動実績について 事務局から、令和4年度活動実績について、資料に基づき説明を行った。以下のとおり質疑等有り。

委員A：本は人生をよりよくして、生きる力を身に着け、コミュニケーション能力を高める力もあります。
健全で健やかに子どもたちが育つための場所として、図書館は重要だと考えていますので、今後も良い活動をよろしくをお願いします。

(2) 電子図書館について

事務局から、電子図書館について、資料に基づき説明を行った。
以下のとおり質疑等有り。

委員A：電子図書館が学校でよく使われているとのことですが、子どもたちがどのくらい学校以外で利用しているかわかる数値は把握していますか。

事務局：実態を完全に把握はできていませんが、95%以上が学校を通して配布したID・パスワードを使って電子図書館を利用しているという統計があります。

委員B：電子図書館おもしろいですね。ぜひ蔵書を増やしてください。

委員C：(学校関係者の委員から発言)

学校の冬休みの課題として、電子図書館を使ってみるという課題を出しています。

委員D：子どもたちはどのような種類の本を電子図書館で読んでいるのでしょうか。

事務局：物語などの読み物の利用が多いように感じています。
また、予約の多い資料としては、すみっコぐらしなどの読みやすいものも人気があり、電子図書館は読書の入口になる効果もあると考えています。

事務局：30人や50人の予約が入っている本もあり、気楽に読書できるものに多くの予約が入っている現状です。

委員A：多くの子どもたちが興味を持っていることに、とても期待が持てます。

一方でまだ利用が少ない年齢層もあるようです。

まだ利用が少ない層へも図書館の方で工夫して、利用の促進を図ってほしいと思います。

・その他

事務局から、その他での説明事項はなし。

委員より以下の通り質疑有り。

委員 E：電子図書につきまして、これからどのくらい本を増やしていく予定でいますか。また、音声で聴けるものなどもこの先入れる予定はありますか。目が不自由な方などの利用も有ると思うので、今後の予定を教えてください。

事務局：電子図書館は、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用しながら事業を展開しています。

交付金申請時の計画といたしましては、今年度は1,000点、来年度は2,000点を目標にしております。また、電子書籍は一度購入しても2年間でライセンスが切れるものがあるため、再来年度は2,500点を目標にしております。

来年度につきましては現在予算要望中となっており、目標を達成できるようにしたいと考えているところです。

次に、音声で聴ける電子書籍についてです。

まず当館の電子図書館のシステムは、目の見えない方なども利用しやすい設計のシステムを使用しております。

また、現在導入している電子書籍も音声読み上げの機能がついており、一部ですが動画形式の電子書籍もございます。

事務局：予算につきましては、財政課に要望しているところですが、少しでも多く電子書籍を導入できるようにしたいと考えております。

委員 F：図書館はいろいろな取り組みをしていると改めて感じました。

これらのことを知ってもらうことが大切だと思います。チラシを配る、広報紙に載せるなど、知らせ方を工夫してPR活動をしていってほしいと思います。

委員 A：コロナ前から、子どもたちにデジタルの流れが来ています。

そこにお父さん、お母さんは仕事が忙しくて、ついていけないところもあります。

様々な環境の中で、ついていけない方々のフォローもしていただきたいと思います。

また、子どもたちについても、誰も取り残さないようにしていただければと思います。

・閉会 午後2時50分

そ の 他	傍聴人 0人
-------	--------